

# 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名： 会津森林活用機構(株) <http://www.a-forest.co.jp/>  
会津地域森林資源活用事業推進協議会

活動地域： 喜多方市、会津若松市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、  
会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

活動におけるテーマ

# 森活



## 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

わたしたちの地域は「森活（もりかつ）」で循環経済共生圏。  
農林業/工業/観光/生活/水資源活用・・・すべての活動は森活に通じます。

**ZER（Net Zero Energy Region）を目指せる基盤をつくります。**  
**森活により流動人口増加、地域外貨を得て森活に再投資、循環経済実現へ。**

| 事業領域 |          | 事業名称・キーワード |                                    |
|------|----------|------------|------------------------------------|
| ①    | 川上       |            | ● 新たな森林経営管理システムへの対応                |
| ②    |          |            | ● 担い手確保                            |
| ③    |          |            | ● 山林立木へ原木管理の仕組み<br>(原木プラットフォーム構築)  |
| ④    | 川中       |            | ● サテライト検討                          |
| ⑤    |          |            | ● 木材コンビナート検討                       |
| ⑥    |          |            | ● サプライチェーンの仕組み構築                   |
| ⑦    | 川下       |            | ● 燃料チップ品質安定・安定調達<br>(燃料プラットフォーム構築) |
| ⑧    |          |            | ● ボイラ基本設計                          |
| ⑨    |          |            | ● ボイラ導入                            |
| ⑩    | 産業・文化・ひと |            | ● 観光資源活用                           |
| ⑪    |          |            | ● 空間資源活用                           |
| ⑫    |          |            | ● アクティビティサポートセンター                  |
| ⑬    |          |            | ● ふくしまグリーン復興への協力                   |
| ⑭    |          |            | ● 簡易トイレ躯体木質化                       |
| ⑮    | 全体       |            | ● 機構活動の情報発信・普及等                    |

## 地域の現状と課題

### 地域の現状

- ◎ 12/13市町村が過疎地
- ◎ 世界に誇れる会津文化、会津産品があるにもかかわらず、統一ビジョンとコンセプト検討実行が不足
- ◎ 資源：  
森林、水、温泉（地熱）、観光名所、冷熱（雪）・・・

### 課題

- ◎ 豊富な資源を活かす
- ◎ 創造的破壊（考え方）  
Break for Creation！
- ◎ 行政区を越えて協力する「森活」で地域は豊かになる。

## 地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

循環経済共生圏の活動を大地とのコミュニケーションたる「森活」に統一し、地域内生活者が団結する。「森活」は国内外の投資家から資金を調達し地域資源の流動化を目指す。経済でのIRR（Internal Rate of Return:内部収益率）も重要だが、それ以上に脱炭素化に進む価値が高いことを説得する。  
⇒この脱炭素化の価値が新しい尺度の一つとなる。

災害時を想定して自立と自律のできる地域イメージからはじめ、現状の成立理由を他地域との連関で認識し、食とエネルギーがあれば自立できることを自覚する。

2018年に会津13市町村地域の協力で設立された「会津森林活用機構株式会社」が「森活」の中心となり、森林をはじめとする「Asset」を管理する組織をつくる。

## 今後の事業取り組み予定

- ◆活動の「見える化」の一つとして建物などの木造・木質化の加速化
- ◆林業フィールドの拡大（森林経営管理法への対応含む）
- ◆行政、経済界、住民とのビジョン共有
- ◆循環共生圏実現には、地域が資本主義の本質と脱炭素社会の協調を認識できる仲間で構成されることが必要となる。
- ◆温故創新のためには創造的破壊も必要。  
⇒過去にとらわれない目的志向が重要

## スケジュール（令和元年度）

|               | 4月 | 5月 | 6月      | 7月   | 8月                          | 9月                       | 10月                      | 11月                                | 12月           | 1月                         | 2月        | 3月                            |
|---------------|----|----|---------|--|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|---------------|----------------------------|-----------|-------------------------------|
| 事業全体の予定       |    |    |         | ◇請負業者決定<br>◇事務局設置<br>◇キックオフミーティング            |                             |                          |                          | 現地意見交換会                            |               | ◇中間報告書提出期限<br>活動団体成果報告書提出◇ |           | ◇成果発表会<br>◇シンポジウム             |
| ビジョンの策定       |    |    | ◇関連情報収集 |  | ◇「森活」コンセプトの具体化<br>◇ビジョン案の検討 |                          | ◇地域内関連マスタープランとの整合確認・位置づけ |                                    | ◇地域循環経済ビジョン策定 |                            | ビジョンの見直し◇ |                               |
| ステークホルダーの巻き込み |    |    |         | ◇会津13市町村担当課との情報共有<br>◇地域内商工会・商工会議所への説明とヒヤリング |                             | ◇会津地域森林資源活用事業推進協議会での計画報告 |                          | ◇会津苗木生産設備（木バイ温風ボイラ）見学<br>◇中間報告骨子共有 |               | 報告書内容共有◇                   |           | ◇福島県、関連中央官庁との意見交換<br>次年度計画策定◇ |